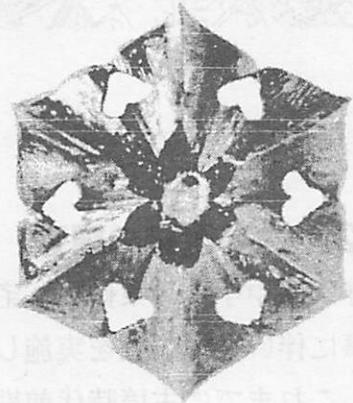


## 発掘調査だより

### 1. 欲賀南遺跡の調査

区画整理工事に伴う発掘調査は現在、<sup>ほしか</sup>欲賀町集落の東端にある浄光寺付近の水田地を調査中です。ここからは平安時代後期から江戸時代にかけての集落跡と流路跡が見つっています。江戸時代の遺構は建物跡や井戸跡があり、<sup>しがらきやき</sup>信楽焼の甕・<sup>かめ</sup>播鉢、<sup>すりばち</sup>伊万里焼の碗、<sup>いまりやき</sup>硯、<sup>すずり</sup>硯などのほか、<sup>くぎかくし</sup>釘隠とみられる黒漆塗りの木製品も出土しています。

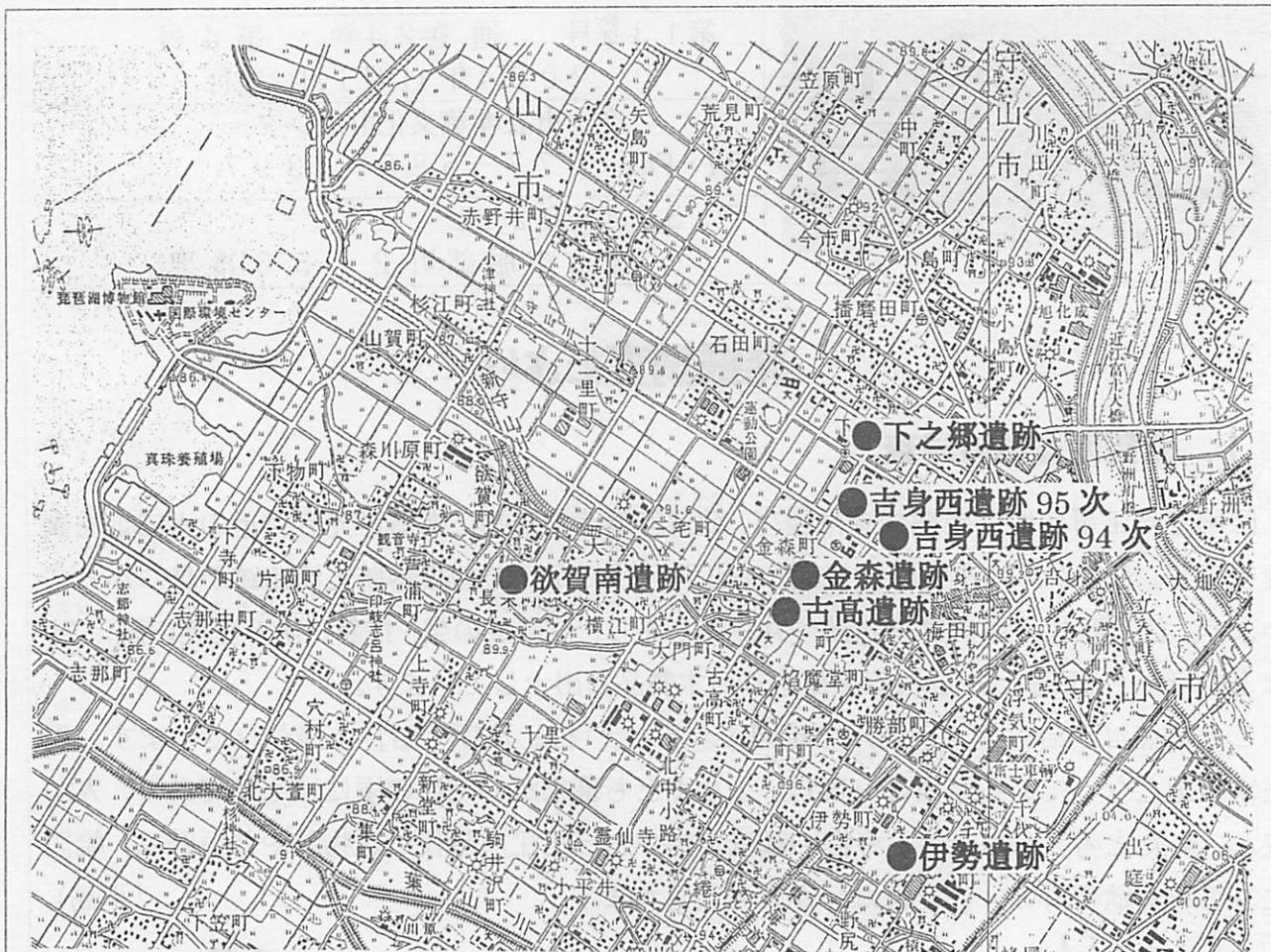
この地点は明治六年（1873）の絵図によると、「村」及び「田」と描かれています。現在は水田となっている場所の一部は、少なくとも幕末から明治の頃には宅地であり、人が住んでいたと考えられます。今回の調査で見つかった江戸時代の建物跡や井戸跡は、絵図にみられる欲賀村の一部ではないかと考えられます。 (小島)



▲釘隠



▲硯

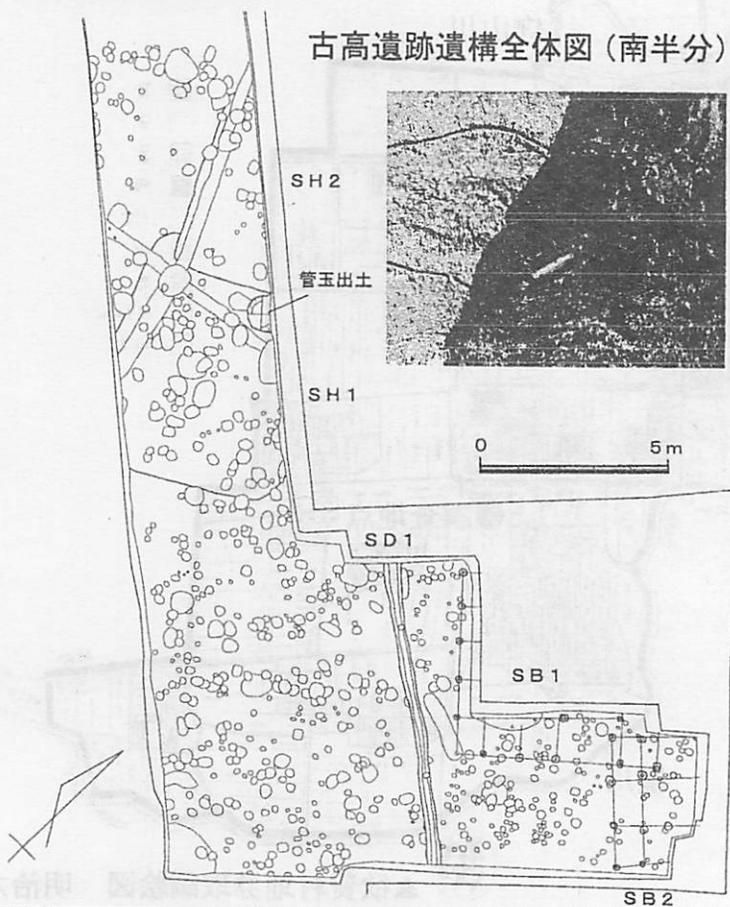


▲発掘調査位置図

## 2. 古高遺跡の調査

守山南中学校の東側で、宅地造成工事に伴い発掘調査を実施しています。これまでに古墳時代前期の竪穴住居(SH-1, 2)や溝(SD-1)、中世の掘立柱建物(SB-1, 2)などを検出しています。古墳時代の遺構はSD-1の西側から集中して見つかっており、この溝が何らかの区画溝であった可能性が考えられます。また、竪穴住居よりやや新しいとみられる土坑から<sup>くだたま</sup>管玉も出土しています。調査は11月下旬まで行う予定です。

(森山)



### 3. 伊勢遺跡の調査

阿村町地先において、宅地造成工事に先立ち発掘調査を実施しています。調査地は平成13年12月に大型竪穴住居が発見された地点の隣接地で、伊勢遺跡の東端部分にあたります。開発地の一部は、平成14年度の確認調査で溝や柱穴の存在が確認されていましたが、今回の調査でさらに大溝、区画溝などが検出されました。

大溝は幅約3.5m、深さ1mの規模で断面形は浅いU字形をしています。溝底はさらに幅50cm、深さ20cm程掘りこまれ、二段掘りとなっています。伊勢遺跡の東側には、南北方向の大溝が掘削されていますが、その断面形に似ています。位置関係からすると、その大溝から分岐して大型建物の周りをめぐる溝なのかもしれません。また、大溝の内側には柱列があり、柵まきが設けられていた可能性も考えられます。

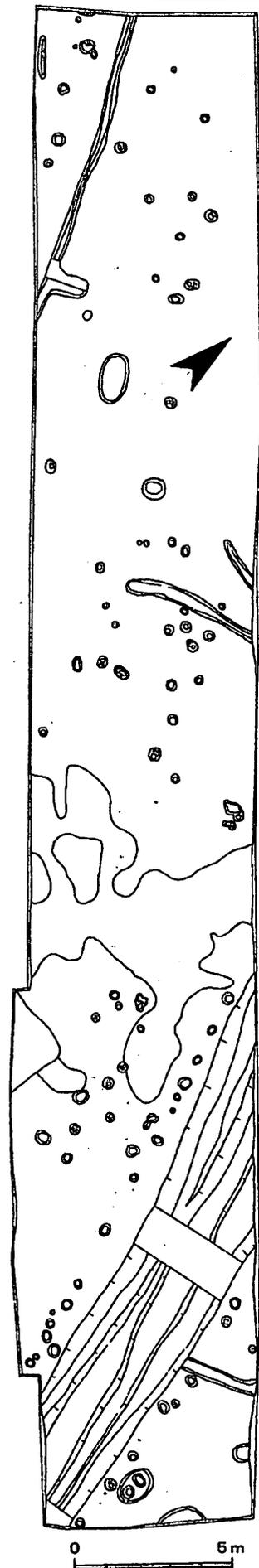
今後、宅地となる大溝の内側部分について確認調査を実施する予定です。  
(伴野)

### 4. 下之郷遺跡 55 次調査

弥生時代中期の環濠集落「史跡 下之郷遺跡」の中央付近の確認調査を実施しています。今回の調査場所は、平成13年度の大規模建物と区画溝が検出された地点の隣接地にあたります。この調査の目的は、集落内部に掘られた区画溝の所在位置と建物配置についてです。現在、表土を除去し、遺構検出にあたっています。状況が明らかになってきましたら、次号で紹介させていただきます。  
(川畑)

### 5. 吉身西遺跡 94 次調査

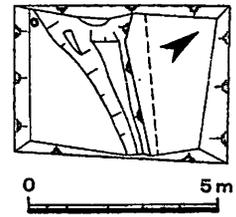
守山五丁目字南高田において、店舗併用住宅建築に先立って調査を実施しました。調査の結果、現地表の90cm下から、溝1条とピットを検出しました。溝は右岸側が攪乱を受けているため、幅はよくわかりませんが、深さは40cmを測ります。年代は溝底から出土した壺などから、弥生時代中期と考えられます。周辺では下之郷遺跡の墓域ほいきとみられる弥生時代中期の方形周溝墓群ほうけいが確認されていますが、今回見つかった溝は規模・形状がそれらとは異なっており、この地点まで墓域が広がっていないと考えられます。  
(畑本)



▲伊勢遺跡遺構全体図

## 6. 吉身西遺跡 95 次調査

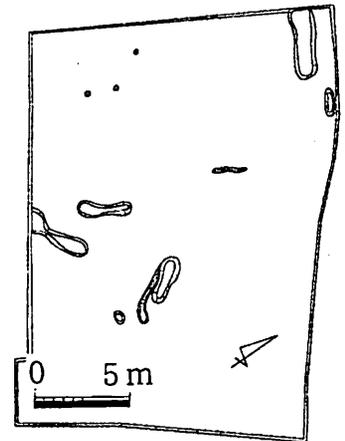
ほほえみセンターの駐車場建設に先立ち、擁壁部分について発掘調査を実施しました。調査の結果、古墳時代の多数の溝が検出され、多量の土器が出土しました。隣接している市立図書館やその周辺からは、古墳時代前期の竪穴住居や古墳時代後期の古墳跡が見つっています。今回、検出された遺構もそれらに関するものではないかと考えられます。(畑本)



▲吉身西遺跡 94 次調査  
遺構平面図

## 7. 金森遺跡の調査

区画整理工事に先立ち、金森町信楽団地の横を調査しました。遺構密度は薄かったのですが、ピットや土坑などが検出されました。出土した土器から古墳時代前期のものと考えられます。昨年度に隣接地を調査した際には、同時期の旧河道から大量の土器が出土しており、今回の調査地点が古墳時代の集落の縁辺に位置しているのではないかと考えられます。



(大岡)

▲金森遺跡遺構平面図

## 秋季特別展開催のお知らせ

市立埋蔵文化財センターでは、文化財強調月間の 11 月に秋季特別展を開催します。今回の特別展は、私たち人間が太古の昔から身近な素材として生活に利用してきた「石」をテーマに、人間がどんな石をどのように使ってきたのか、その歴史や時代背景について野洲川下流域平野を中心に探ります。

記

- 1 開催テーマ 『石と人—守山の石の道具展—』
- 2 開催期間 平成 16 年 11 月 3 日 (祝) から 11 月 21 日 (日) まで
- 3 開館時間 午前 9 時から午後 4 時まで
- 4 関連行事 **★演奏会** 「石の音楽界—石の音色と自然アンサンブル」  
出演者 守山琵琶湖よし笛アンサンブルと市立守山中学校生徒の皆さん  
日時 平成 16 年 11 月 3 日 (祝) 午後 1 時 30 分  
場所 埋蔵文化財センター 1 階展示フロアー  
**★講演会** 「石と日本人の暮らし」  
講師 岡村道雄さん (奈良文化財研究所)  
日時 平成 16 年 11 月 14 日 (日) 午後 1 時 30 分  
場所 埋蔵文化財センター 2 階会議室

【問い合わせ先】 守山市立埋蔵文化財センター ☎・FAX 077-585-4397